



平成 20 年 1 月 30 日

各 位

会 社 名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 奥 田 陽 一
 (コード番号 4739 東証第1部)
 問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 藤 原 隆
 (TEL 03-6203-5000)

平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 4 月 27 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	348,000	28,800	29,100	16,700
今回修正予想 (B)	328,000	25,000	26,000	14,500
増減額 (B-A)	▲ 20,000	▲ 3,800	▲ 3,100	▲ 2,200
増減率 (%)	▲ 5.7%	▲ 13.2%	▲ 10.7%	▲ 13.2%
(ご参考)				
前期実績 (平成19年3月期)	294,374	25,465	25,902	14,045

(2) 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	319,000	17,200	22,900	23,600
今回修正予想 (B)	302,000	15,000	21,600	22,500
増減額 (B-A)	▲ 17,000	▲ 2,200	▲ 1,300	▲ 1,100
増減率 (%)	▲ 5.3%	▲ 12.8%	▲ 5.7%	▲ 4.7%
(ご参考)				
前期実績 (平成19年3月期)	275,653	10,446	18,916	11,269

2. 修正の理由

当期の業績見通しにつきましては、受注高は第2四半期以降、順調に推移しておりますが、顧客におけるビジネスの高度化・複雑化を背景として高付加価値の案件が増加していること、また、開発および保守・運用ビジネスを積極的に拡大していることを背景として、受注から売上計上までの期間が長期化している状況等を鑑み、売上高につきましては期初予想を下方修正いたしました。利益につきましても、外注コストおよび販売管理費等の削減努力を継続して行っているものの、上記売上高の減少分を補うには至らないと想定されることから、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ下方修正いたしました。

第4四半期におきましては、高水準の受注残高を確実に売上計上することに注力しつつ、次年度以降の収益拡大に資する営業活動を図ってまいります。また、注力分野である開発・SI 案件に関しましては、要件定義や収益管理をさらに強化・徹底し、不採算案件の縮小に努めるとともに、引き続き売上原価および販売管理費の削減努力を継続し、収益力の向上を推進してまいります。

以 上

※ 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。